

持続可能な開倫塾づくり、校舎づくりを目指して
—社会的使命に基づく経営を—

開倫塾
塾長 林 明夫

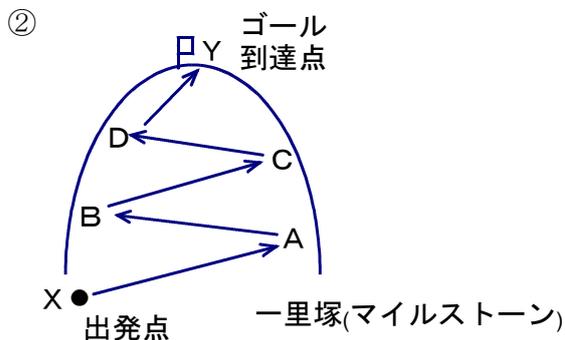
Q1：本日の研修会の目的(ゴール)は何ですか。また、経営とは何ですか。

A：(1)本日の研修会の目的(ゴール)

- ①開倫塾の創業者である塾長からの創業、企業として立ち上げから現在に至るまでの歩み、開倫塾経営の基本とは何かの講義を開いて頂き、企業とは何か、開倫塾で働くとは何かを研修するきっかけをつくること
- ②経営学や視察を含む研修はエンパワーメントに役に立つことを知り、これからの経営学や視察を含む研修の様々な活動をすすめるきっかけをつくること。開倫塾の本質的理解を図り、研修を担当すること

(2)「経営」とは何か。経営の「定義」

- ①「経営とは、営みを経て目的(最終的な到達点・ゴール)、目標(最終的な到達点・ゴール)に達するためのいくつかの一里塚、マイルストーン)に達すること」



*この経営の定義の基本は小林恵智博士。

Q2：研修担当責任者として全社員に伝えるべき株式会社開倫塾の歴史、開倫塾のDNAを全社員と共有する第一歩として紹介してください。

A：(1)創業に至る経緯

- ①私の学生時代
 - ②大学を卒業してから創業するまで
 - ③創業の理由
- (2)創業から株式会社設立(5年目)まで
- ①ゼロからのスタート
 - ②「人、もの、お金」
 - ③何よりも会社らしい「しくみづくり」

(3)株式会社設立から今日に至るまで

- ①11校舎の壁
- ②68校舎の壁
- ③3ヶタ校舎を目指して

— 参考 —

- (1)開倫塾は「チェーンストア理論」に基づき経営。その基本は日本リテーリングセンター・ペガサスクラブ、渥美俊一先生。
- (2)開倫塾は「人間主義経営」に基づき経営。その基本は日本ホームセンター研修所、会田玲司先生。
- (3)開倫塾は「心の共同体」に基づき経営。その基本は弁護士、高井伸夫先生。
- (4)開倫塾は「共創」の考えに基づき経営。その基本は佐々木博士。
- (5)開倫塾は「経営品質」の考えに基づき経営。その基本は「日本経営品質賞」。

(4) ベストプラクティスのベンチマーク(自社内、同業他社、異業種)

① 自分以外はすべて師(励まし合う仲間づくり)

② 暗黙知の形式知化による共有化

* 誰が、どこで、何を、どのように、いつ、なぜ行っているのかを知ること。その目利きになること

③ 学習する組織(Learning Organization)づくりを目指す。その担い手が研修担当責任者

* 研修担当責任者こそベストプラクティスのベンチマーキングを毎週 1 回以上行い、スキル向上を図ること

Q 3 : 開倫塾の社会的使命は何ですか。

A : (1) 「成功の実現」に貢献

* 塾生が自己学習能力を身に付けて学力を向上させることは、一人ひとりの塾生が多様な選択肢のある人生を歩むこと、つまり「人生の成功」「成功の実現」に結びつく

(2) 「正常に機能する社会の形成」に貢献

* 塾生・保護者・地域社会の方々が学力を身に付けること・自己学習能力を身に付けることは、地域の教育力の向上、つまり「正常に機能する社会の形成」に貢献する

(3) 開倫塾は、顧客を塾生・保護者・地域社会と定義する

Q 4 : 開倫塾の事業ドメイン(事業領域)は何ですか。

A : (1) 「学校教育で不足する教育を補うこと」

* 学校教育で不足する教育は多い、山ほどある。それを補う、特に学習面で不足するものを補うことが開倫塾の事業ドメイン(事業領域)。補うからには、徹底的に補う

(2) 「学習支援サービス」(Learning Services)

* その中心は、学校成績の向上と本人が進学を希望する学校への進学のための指導・学習支援

(3) 開倫塾では、本人が進学を希望する学校を「本人にとっての一流校」と定義する

* その地域で偏差値の高い学校は「トップ校」と呼び、「一流校」とは言わない。「一流校 100%合格」を目指す。そのことで「トップ校シェアの毎年の向上」も目指す

Q 5 : 開倫塾の教育目標は何ですか。それは、具体的にどのような社会に対してどのような基本的能力を目指しますか。

A : (1) 「高い倫理」

* 「課題山積社会」に対応するための「自律的に活動する能力」

(2) 「高い学力」

* 「知識基盤型社会」に対応するための「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」

(3) 「高い国際理解」

* 「グローバル社会」に対応するための「多様な集団で交流する能力」

(4) 「自己学習能力の育成」

* (1)~(3)の前提となるのは「学習の仕方を学習する(Learning To Learn)能力」を身に付けること

* 塾生に(1)~(3)の考えと(4)のスキルを伝え、自分のものとさせることで多様な人生の選択肢を持たせることが開倫塾の社会的使命

Q 6 : 開倫塾が目指す経営理念(価値として大切にすること)―「事実前提」ではなく「価値前提の経営」―とは何ですか。

A : (1)「顧客本位」

- ①顧客とは塾生・保護者・地域社会
- ②顧客の成功の実現に貢献、正常に機能する社会の形成に貢献
- ③塾生の進学したい学校が「一流校」

(2)「独自能力」

- ①「教え方日本一」を目指す(すべての先生が先生である限り「教え方日本一」を目指し、切磋琢磨すること)
 - ・教え方日本一の学習サービスを北関東(栃木・群馬・茨城)のスミズミに(埼玉の北東地区や東京の川の手地区にも)
 - ・立地は独特(無店舗地帯立地、扇おうぎの要、行きつ戻りつ、インクプロット立地)
- ②「開倫塾の学習の3段階理論」、「開倫塾学習塾基本調査」
- ③「全国模擬授業大会・国際大会」の実施、今年の第8回大会は5月26日(日)に白鷗大学足利高校で実施

(3)「社員重視」

- ①「エンパワーメント(empowerment)」の重視
 - ・能力強化
 - ・権限委譲
 - ・雇われる能力(employability エンプロイアビリティ)を階層ごとに身に付けて強化するしくみづくりによる雇用の維持、雇用の受け皿づくり
- ②「出入り自由」、「85歳すぎまで働ける」職場づくり
- ③一人ひとりの社員の「キャリア権」尊重企業

(4)「社会との調和」

- ①「セクシズム(男女による差別)」、「エイジズム(年齢による差別)」、「レイシズム(出身による差別)」の撤廃
- ②「企業としての社会貢献活動の推進」→「CSR(企業の社会的責任)」→「社会的企業(Social Enterprise)」へ
 - *「社会的課題解決企業」を目指す
- ③開倫研究所(「問題解決型教育相談所」の設置)
- ④開倫ユネスコ協会への支援―「人間の安全保障 Human Security(Protect 保護と Empowerment 能力強化)」の推進―
- ⑤栃木刑務所での学習支援(受刑者教育)

Q 7 : 開倫塾の経営方針とは何ですか。

A : (1)「学ぶに値する学習塾づくり」

(2)「働くに値する職場づくり」

(3)「倒産しない会社づくり」

*「企業は原則倒産」「校舎は原則閉鎖」

- ・昨年のように今年がある、今年のように来年があると考えたら、その翌年はない
- ・最悪のことをいつも考え、危機感をもって全社員が自律的に行動しなければ企業は存続しない、校舎は存続しない

参考：教育の質

- ①カリキュラムの質
- ②先生の質
- ③マネジメントの質

参考：教育の成果を決定する要因

- ①本人の自覚
- ②先生の力量
- *本人の自覚を促すのも先生の力量―そのためのツールが「武者語り」(3分間スピーチ)

Q 8 : 学習塾経営とマーケティングの4P、4Pの顧客にとっての意味についてお話しください。

- A : (1) Product (製品・サービス) …顧客の問題解決
(2) Price (価格) …顧客の負担
(3) Place (立地) …顧客の利便性
(4) Promotion (販売促進・広報) …顧客とのコミュニケーション
* 「学習サービス産業」としてマーケティングの4Pによる顧客価値の最大化を目指す
* 「マーケティング」の学習は極めて役に立つ(コトラーは必読)

Q 9 : これからのサービス産業の課題とは何ですか。

- A : (1) サービス産業への就業者は多いが……
* 「創業」や「多角化」は容易だが…
(2) サービス産業の生産性向上
(3) サービス産業の海外展開
(4) 小さな組織・職場の「経営」
(5) サービス産業としての「5S」「改善活動」「標準化」「統計的手法の活用」「ISO」「シックスシグマ」「TQM(総合質経営)」「デミング賞」「日本経営品質賞」への取り組みを。製造業から大いに学ばせて頂き、卓越した業績を目指す
* 以上の基本の「品質管理」はサービス産業、学習塾経営に最も有用。入門書から学習のスタートを
* 「経営戦略論」も極めて役に立つ(ドラッカー、マイケル・ポーターは必読)

Q 10 : 開倫塾の本社がある足利市では論語の素読や5S活動が盛んなようですね。

- A : (1) 日本最古の学校「足利学校」のある街、足利市では「論語」の素読が盛んに行われている
(2) 「5S活動」の「メッカ」も足利市。「足利5S学校」は「第1回世界5Sサミット」を昨年11月5日・6日に開催。今年も開催されそうなので、ぜひ御参加を
①「整理」(不要なものを処分)
②「清掃」
③「整頓」(ものは決められたところに置く)
④「清潔」(①～③の状態を保つ)
⑤「躰」(自分の意志で自主的に行う)
* 「開倫5S学校」を本年秋に立ち上げ、全校舎で「開倫流5S」活動をキックオフしたい。
校長以上は全員「5Sインストラクター」(認定制)の取得を

Q 11 : 研修担当責任者としてどのような学習をしたらよいとお考えですか。

- A : (1) 図書館の活用を。NHKや放送大学も最大活用を
①「ドラッカー」「マイケル・ポーター」「コトラー」などの経営学の基本図書は必読
* ステググリッツなどのマクロ経済学・ミクロ経済学の教科書、法律学、教育学の基本書を
「人材育成」「組織論」「カウンセリング」の学習も
②新聞を毎日、数紙読み続ける。英字新聞も
* 「新聞・雑誌の要約ノート」作成を
③月刊経営誌「一橋ビジネスレビュー」「ハーバードビジネスレビュー」も
④日本、中国、世界の古典をゆっくりと読み著作との対話を
* 「書き抜き読書ノート」の作成を

(2) TOEIC、TOEFL の準備は公式問題集を中心に

(文法は高校英文法の参考書 Forest で十分)

公式問題集の CD を何百回も聴くこと

(3) 経営工学の学習を。「とちぎ MOT プログラム」の活用を
(*タッチ・タイピングは必須。)

*ただし、統計・確率、エクセルと SPSS は必須。高校数学の学習を

(4) 参考になる H.P.(メールはほどほどに。「3分ルール」は論外)

①「公益社団法人 経済同友会、委員会等の提言書、・報告書」特に、毎年刊行の「企業白書」は圧巻

②「経済産業研究所」

③「日本経済調査協会(日経調)」

④「国際連合大学」

⑤各大学の OCW(オープン・コース・ウェア)、特に「MIT OCW」

⑥「平成進化論」(鮎谷周二氏)

⑦「(マイケル・)ポーター賞」「日本経営品質賞」「ハイサービス日本 300 選」の受賞理由書

⑧開倫塾の H.P.(www.kairin.co.jp)の中にある月～金毎日更新の「林明夫」のコーナーの研修担当責任者としての最大活用を

(5)「一生勉強、一生青春」(相田みつを)、「教育ある人とは一生勉強し続ける人」(ドラッカー)「離見の見(りけんのけん)」(世阿弥)

(6) 学校時代の友人は一生の友人。先生は一生の恩師。少しずつでも友情を育てよう

(7)「健康第一(心の健康・身体の健康)」

(8) 人間関係を保つ秘訣は、「元気なあいさつ」

参考

1. ラジオ「スペイン語講座 毎日スペイン語」2013年4月～9月テキストの「今日の目標」は「Can Do リスト」に基づく日本で最先端の番組テキスト。

2. これを参考に、開倫塾のすべての授業板書に「今日の目標(今日の Can Do)」の明記を。全科目、今日の Can Do の英語による表記を

3. 歯を食いしばって、半年間英語による表記を継続すれば、開倫塾の授業が10月以降ガラッと変化する

今秋、開倫師範学校を設立する

①講師研修センター

②校長研修センター

③開倫 5 S 学校

— kairin Teachers' College —

Q12: 最後に一言どうぞ。

A : (1)「関係は本質に先立つか」という命題があります

(2)先立つかもしれない。本質的には異なる人どうしてもよい関係をつくることはできるかもしれない。そう私は考えます

(3)自分とは異なる相手の本質(立場)を認め、尊重した上でよい関係を構築することに努めたい

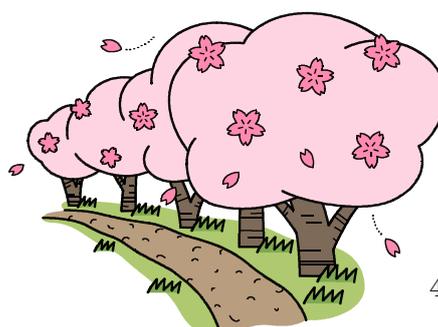
*塾生、保護者、地域社会、ビジネスパートナー、そして何よりも職場における良好な人間関係の構築についても積極的な研修プログラムをつくりたい

Enjoy Kairin life!!

御清聴を感謝申し上げます

御質問、御意見、コメントが

ありましたら自由に御発言ください。



以上

— 2013年4月8日記 —

4月13日追記

4月15日追記・改訂 林明夫